

医学研究科倫理審査委員会議事要旨

日 時：平成 19 年 9 月 3 日（月） 午後 2 時～午後 4 時

場 所：医学部非常勤講師控室

出 席：徳留信寛 委員長、木村玄次郎 副委員長、横山信治 委員、古川壽亮 委員、森田明理 委員、水谷隆治 委員、内藤能房 委員、脇田恵美子 委員

欠 席：長尾正崇 委員、森 哲彦 委員

1 審議案件

(1) 受付番号：307-1・307-2

研究課題名：染色体均衡型相互転座が原因の習慣流産患者の着床前診断に関する臨床研究

申請者：産科婦人科学 教授 杉浦真弓

① 審査の概要

審査に先立ち、本委員会です既に承認されている着床前診断の進捗状況について、申請者から報告があった。

今回の申請については、審議の結果、過去に承認した事例と同様の内容であり問題はないと判断されたが、307-2 について一部誤りを修正する必要があるとの指摘があった。

② 結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、持ち回り委員会により判定を行う。

(2) 受付番号：306

研究課題名：アトピー性皮膚炎患者皮膚におけるサイトカイン受容体の解析

申請者：加齢・環境皮膚科学 教授 森田明理

① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

委員から、以下の点について指摘があった。

- ・企業との共同研究であるため、利益相反に関する事項を申請書に記載すること。
- ・申請書の文言を一部修正すること。

なお、今回のような共同研究契約におけるデータの取扱い、公表のあり方について議論が行われ、引き続き検討していくこととなった。

② 結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、持ち回り委員会により判定を行う。

(3) 受付番号：310

研究課題名：先天性肺嚢胞性腺腫様奇形の免疫組織学的検索

申請者：臨床病態病理学 教授 栄本忠昭

① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

委員から、以下の点について指摘があった。

- ・過去に集積された検体を研究目的で使用する場合に、インフォームド・コンセントをどうするかは従来からの懸案であるが、少なくともまったく I C を取得（する努力を）せずに研究を進めることは、現行の倫理指針に照らして問題がある。
- ・この問題に対する国内外の病理学会の見解、実務上の取扱いがどうなっているか、また、共同研究機関である Memorial Sloan-Kettering Cancer Center でどう対応しているかを参考にお知らせ願いたい。

② 結論

上記指摘に基づき申請内容を見直し、再申請することを勧告する。

(4) 受付番号 : 309

研究課題名 : がん患者におけるディグニティセラピー（あなたの大切なものを大切な人に伝えるプログラム）の有用性に関する研究

申請者 : 精神・認知・行動医学 准教授 明智龍男

① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審議の結果、研究内容には問題ないと判断されたが、一部文言を修正する必要があるとの指摘があった。

② 結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。